

書

評

永井英司（編）

完全腹腔鏡下胃切除術 エキスパートに学ぶ体腔内再建法 [DVD 付]

山本 学

足立共済病院院長/第5回日本内視鏡外科学会大上賞受賞

ご存知の先生も数多くおられると思うが、本書は医学書院から発売されている雑誌『臨床外科』で、2013～2015年にわたって連載された「必見！完全体腔内再建の極意」をまとめたものである。その内容は、完全腹腔鏡下胃切除術における再建術式に焦点を当てたもので、極めて貴重かつ実践的なものである。しかも、本書はただ掲載論文をまとめただけでなく、新たに実際の手術映像を収録したDVDを加え、まさに「完全腹腔鏡下胃切除術」を目指す読者にとってバイブルとなる、唯一無二のテキストである。

本書が出版されるまでの経緯は、編者の永井英司先生が「序」で述べておられるように、腹腔鏡下胃切除術を行っている外科医の技術向上に対する熱意が作り上げた一冊と言っ

てよい。
タイトルにもある「エキスパートに学ぶ」という言葉は、よく目にす

るものであるが、手術の上手な外科医が教えるのもうまいとは限らない。本書に名を連ねるエキスパート達は、いずれもセミナーなどで優れた教育法を実践している方ばかりであり、その内容は完璧とも言える。

もちろん、外科に限らず、ある手技を習得しようとするならば、座学のみでは不可能である。しかし、ただ実践あるのみ！と手術をするだけでは、上達への道のりは遠回りであり、何よりも「learning curve」という犠牲者を出すことにもなりかねない。正しい理論に基づいた正しい手技を効率的に学ぶことは、患者の生命を守る医師として、義務とも言える最重要命題である。プロのアスリートが日々の練習を怠らないように、外科医も日々研さんを積み重ねなければならない。また、彼らには優れたコーチが存在するように、外科医もまた良いコーチが必要である。

本書は、必ずしも毎日コーチがい

ない環境の外科医に対してコーチングを行ってくれるだけでなく、既にコーチがいる者に対しても、もっとうまくなりたい、執筆者の手技が見たい、直接教えてほしい、などのモチベーションを喚起してくれる内容である。

繰り返しになるが、手術はテキストやビデオを見るだけでは上達しない。しかしながら、これら抜きでは間違った手技を身につける恐れさえある。本書を座学と実践両輪の一輪として、全ての腹腔鏡下胃切除術を行う外科医が活用し、安全で治療効果の高い手術を実践していただければ、本書に関わった全ての方の喜びであると信じて疑わない。

●B5/頁 216/2015 年

定価 本体 12,000 円+税

[ISBN978-4-260-02103-6]

医学書院 刊